

運動部活動における教師の働きかけが及ぼす
生徒の心情の変化についての研究
— 中学ソフトテニス部に着目して —

梅村 昌 (競技スポーツ学科 コーチングコース)
指導教員 村田 正夫

キーワード：心情 競技意欲 TSMI

1. 緒言

思春期を迎える中学生の不安定なところと行動の背景には、さまざまな心理的要因が関わっている。中でも教師との関わりは、中学生の「こころ」に大きな影響を及ぼしていると考えられる。特に部活動の指導者は生徒との関わりが深いため、より生徒の「心情の変化」について様々な影響を及ぼしていると言えるだろう。また、部活動の指導者との関わりで、生徒の心情に変化をもたらす要因のひとつに競技意欲が挙げられる。生徒の競技意欲や競技成績は指導者との関わりによっても左右されると考えられるであろう。

そこで本研究では、現在女子中学ソフトテニス部を指導している事から自我の形成が成される思春期の中学生(ソフトテニス部)に焦点を当て、教師との関わりの実態について、TSMI(競技意欲検査)を基に作成したテストを実施し、教師の働きかけによって生徒の心情がどのように変化し、そのことによって競技成績にどのような影響をもたらすのかを明らかにするものである。

2. 研究方法

滋賀県ソフトテニス連盟・中学校体育連盟に加盟している 2012 年における近畿大会出場校 1 校(15 名)、県大会出場校 2 校(それぞれ 15 名ずつ)、地区予選敗退校 1 校(15 名)の計 4 校の女子ソフトテニス部の選手、中学 1 年～中学 2 年、計 60 名を対象とした。また、各中学校の顧問の代表 1 名を対象とし、TSMI を構成している 17 因子の内 6 因子について、教師と生徒に対しアンケートを実施した。

調査期間は、10 月 6 日に行われた大津合同練習会に参加した前述の 4 校にアンケートを配布し、その場で回収した。

3. 結果と考察

	目標への挑戦	技術向上意欲	勝利志向性	コーチ受容	コーチ適応	練習意欲
A中学校	22.9	23.3	17.5	22.7	15.2	22.4
B中学校	20.9	22.6	17.2	26.6	16.7	18.5
C中学校	21.5	22	16.6	24.8	16	20
D中学校	19.1	21.1	14.5	22.3	14.9	17.3

(表1)4校全ての競技意欲検査結果比較表

4 校全ての競技意欲検査比較表について調査した結果、A 中学校の平均点は高く D 中学校は全体的に低かった。(表 1)

	目標への挑戦	技術向上意欲	勝利志向性	コーチング理想	コーチ適応	指導意欲
A校顧問	24	20	15	18	25	16
B校顧問	24	24	15	11	18	16
C校顧問	24	27	14	16	21	14
D校顧問	23	21	13	11	20	15

(表2)4校全ての教師のアンケート調査結果比較表

4 校全ての教師のアンケート調査結果比較表については、目標への挑戦、勝利志向性、指導意欲には差がなかった。(表 2)

4. まとめ

生徒の競技意欲は、教師の部活動に対する意識や指導能力、指導意欲によって左右される事が分かった。また、生徒の心情は、教師が練習の場に居るか居ないかによって変化する事が明らかになった。この事から教師は、練習の場に居ない状況であっても内容のある練習をする様に生徒に働きかけなければならず、また生徒も教師の働きかけに応える事が出来れば競技成績に反映されると言えるだろう。

5. 引用・参考文献

- ・松田岩男・その他(1980)：スポーツ選手の心理適性に関する研究。1980 年度日本体育協会スポーツ科学研究報告集他